

2019年度 浦和学院高等学校教員採用試験募集要項

求人先	社名	学校法人明星学園 浦和学院高等学校	創立年月日	1978年4月1日							
	所在地	〒336-0975 埼玉県さいたま市緑区代山172番地 TEL. 048-878-2101 FAX. 048-878-3335	学園基本金	153.3億円							
	最寄駅	JR武蔵野線東川口駅 スクールバス15分(利用可能) JR京浜東北線大宮駅 国際興業バス30分	帰属収入(年商)	29.2億円							
	代表者名	理事長 仙波 邦博	<table border="1"> <tr> <td>常勤教員</td> <td>男81 女52 計133名</td> </tr> <tr> <td>非常勤教員</td> <td>男14 女16 計30名</td> </tr> <tr> <td>常勤職員</td> <td>男18 女13 計31名</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>男10 女3 計13名</td> </tr> </table>	常勤教員	男81 女52 計133名	非常勤教員	男14 女16 計30名	常勤職員	男18 女13 計31名	非常勤職員	男10 女3 計13名
常勤教員	男81 女52 計133名										
非常勤教員	男14 女16 計30名										
常勤職員	男18 女13 計31名										
非常勤職員	男10 女3 計13名										
担当者名	事務部人事労務課長 田辺 美奈子	業務内容 業種：教育 高校(普通科)・専門学校(1987年4月創立：看護医療系)・幼稚園(1964年4月創立)を経営する。									

1. 教員採用の基本方針

- 2022年の高等学校学習指導要領の改訂を控え、ICT機材の活用やアクティブラーニングの導入等を含む新たな時代の本校の教科指導及び学習指導に積極的に取り組む人材を募集します。
- 2020年の高大接続改革を控え、新しい大学入試制度に対応する進路指導及び受験指導に積極的に取り組む人材を募集します。
- 2018年度に公示された部活動ガイドライン等を踏まえ、ライフスキル教育としての部活動指導に積極的に取り組む人材を募集します。

2. 求める人材像

- 幅広い教養と専門的な知識・技能を備え、誠実に教材研究に取り組むことのできる教員。
- 本校の建学の精神や校訓に共感し、学校方針に沿って、各々の業務に取り組むことのできる教員。
- 全ての業務において、生徒一人一人の健康と安全を最優先に行動することのできる教員。
- 本校教員集団の一員として、各自の個性的能力を活かして皆と協調し協力することのできる教員。

3. 採用試験種別

第Ⅰ期 採用試験 2018年8月1日～11月30日まで申請期間を猶予する

- 特別推薦**
 - 大学学部長推薦**
- 募集要項に掲げる受験資格を満たし、**特別推薦・大学学部長推薦**の要件を満たす者

第Ⅱ期 採用試験 2018年11月実施

募集要項に掲げる受験資格を満たす者

第Ⅲ期 採用試験 2019年 2月実施

募集要項に掲げる受験資格を満たす者

第Ⅳ期 採用試験 2019年 3月実施

募集要項に掲げる受験資格を満たす者

4. 第Ⅰ期採用試験の受験資格と特典

- 特別推薦選考・大学学部長推薦選考の対象教科**

	英 語	国 語	理 科	数 学	地歴公民
特別推薦選考	○	○	○	○	○
大学学部長推薦選考	○	○	○		

(2) 特別推薦選考・大学学部長推薦選考の受験資格

特別推薦・大学学部長推薦に該当する者は、2018年8月1日～11月30日までの受付期間において、定められた提出書類を提出すれば、1次選考(書類審査)・2次選考(専門教科筆記試験)を免除し、3次選考(管理職面接)を受験することができる。
3次選考日・4次選考日は第Ⅱ期教員採用試験受験者と同一日とする。

ア. 特別推薦選考受験資格

2019年4月1日から本校の教員となることを第一志望とし、2017年度・2018年度・2019年度(過去3年以内)の公立学校(都道府県は問わない)の第一次試験(専門教科筆記試験)を合格した者もしくは推薦合格した者で、出願時に誓約書を提出できる者。

大学・大学院の新卒・既卒を問わない。現職が公立・私立学校勤務者でも可とする。

イ. 大学学部長推薦選考受験資格と推薦基準

【受験資格】

- ① 対象教科の教員普通免許状を所有している者、または2019年3月31日までに取得見込の者。
- ② 大学・大学院に在籍している課程を2019年3月31日までに修了見込みの者で、2019年4月1日から本校の教員として勤務することのできる者。
- ③ 以下に定める推薦基準を満たしており、在籍する大学・大学院の学部長からの推薦を得られる者。

【推薦基準—必須事項】

- ① 本校を第一志望とし、合格した場合は必ず本校に就職する者。
- ② 高等学校教員としての適性と資質を有すると認められる者。
- ③ 学業成績が優秀であり、担当教科についての高度な専門的知識を有すると認められる者。

【推薦基準—加点事項】

- ① 英語力については、英検準1級・TOEFLiBT 70点・TOEIC 750点を有している場合、面接評価点に加点する。
- ② 中国語・台湾語(台語)・韓国語・クメール語の会話程度が可能な場合、面接評価点に加点する。
- ③ 3ヶ月以上の国際留学(証明する書類が必要)、海外青年協力隊等に参加経験のある者は、面接評価点に加点する。

5. 第Ⅱ期・第Ⅲ期採用試験システム早見表と特典

	埼玉会場 〔浦和学院高校〕	東北会場 〔仙台市内〕
1次選考(書類審査)	定められた期日までに提出。選考結果はホームページにて発表する。	
2次選考(専門教科)	2日間選択制	1日で実施
3次選考(管理職面接)	浦和学院高校で実施、3日間から指定する	
4次選考(校長面接)		

※東北以外の方でも、東北会場での受験は可能。東北の方でも、埼玉会場での受験は可能。

■特典

特典ア. 埼玉会場の2次選考(専門教科)は、2日間から都合のよい日程を選択できる。

また、合格した場合、本校に入職したい意志の強い者は、出願日・選考日を前倒しすることの相談を受け付け、早期に試験を実施することができる。

特典イ. 東北会場の2次試験は、仙台市内で実施する。※東北の方でも、埼玉会場での受験は可能。

特典ウ. 北海道・東北・北信越出身者の、埼玉への交通費は、自宅最寄り駅から本校までの区間分を負担する。(北海道・青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島・新潟・長野・富山・石川県に現住所がある者に限る。) 必要であれば、本校の宿泊施設(シングルルーム、食事付)を提供する。

6. 諸手続に関すること

(1) 選考手順と心得

- ①受験希望者は、出願前に **Eメール(携帯アドレス不可、パソコンから差出人名にフルネーム記載のごと)にてエントリー**を行うこと。氏名、年齢、性別、出身大学・学部・学科、担当教科、希望職種(専任・常勤講師・非常勤)、**2次選考希望日**を明記のこと。
- ②提出書類は、第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅲ期・第Ⅳ期教員採用試験の定める日程までに郵送にて提出する。その際、封筒の表面に「**教員採用試験応募書類在中**」と**朱書き**にて表記すること。
- ③提出書類に不備があった場合には、「不合格」とする。提出書類は理由の如何を問わず返却しない。
- ④記載事項に不正のあった者については、受験を取り消すか合格を取り消すことがある。

(2) 提出書類(外部受験者)

提出時期	提出書類	注意事項
出願時	志願書(履歴書)	指定用紙。(ホームページからダウンロード)3cm×4cmの写真を貼付する 直筆のごと
	卒業証明書 または卒業見込証明書	最終卒業(見込)学校が発行し、厳封したもの
	成績証明書	最終卒業(見込)学校が発行し、厳封したもの 尚、大学院在学者及び卒業生は、出身大学の成績証明書も添えること
	教員免許状(写)	所持する免許状のコピーをすべて提出すること ※既卒者は必ず提出すること。新卒者は、入職時までに提出とする
	官製はがき (受験票となる)	表面に郵便番号・住所・氏名を記入し、裏面は空白のまま送付すること 62円分の切手が貼付されていること
	公立選考一次通過証明	特別推薦選考受験者のみ提出。 都道府県発行の筆記試験を通過した証明のコピー
	特別選考誓約書	特別推薦選考・大学学部長推薦選考受験者のみ提出。 「第1志望」であり合格したら、入職すること
4次選考時	人物評価推薦書	大学学部長推薦選考受験者のみ提出。 大学及び大学院の学部長が記載のこと
	健康診断書	3次選考合格者 は、4次選考面接日に「健康診断書」を提出する 健康診断書は 提出日3ヶ月以内(厳守) のもの ※胸部レントゲン・身長・体重・視力・検尿・血圧は必須とし、診断所見記載のもので、それ以外の項目は医師が定める基本事項のみで可とする

7. 応募要領並びに雇用条件に関すること

職種	専任教員	常勤講師	非常勤講師
雇用形態	原則、就業規則の定めによる	個別に契約年数を定める ※任期は、1年～3年とし、 上限は5年とする。	単年度契約 ※任期は、上限5年とする。
職務内容	高等学校教員として担当教科の授業・補習・講座、さらに校務分掌・担任・部活動顧問に従事する さらに私学教員として、生徒募集活動に従事する ※「非常勤講師」は教科指導専門で校務分掌・担任を持たない		
採用予定日	2019年4月1日 ※事前の新教科会議・職員会議に出席を要請する		
募集教科	英語・国語・理科・地歴公民	英語・国語・理科・数学・ 地歴公民	英語・国語・理科・地歴公民・音楽
募集人員	若干名	各教科2～3名程度	若干名

外部者 受験資格	30歳未満 1989年4月1日以降出生した者	35歳未満 1984年4月1日以降出生した者	40歳未満 1979年4月1日以降出生した者 60歳以上 公立中高・私立中高を正規に 定年退職し、教職を希望する者
	①受験する種別の教員普通免許状を所有している者、または2019年3月31日までに取得見込の者 ②学校教育法第9条に欠格事項に該当しない者		
	付記事項 ①理科は物理・化学を専門とする者が優先される ②地歴公民は、地歴・公民双方の免許を所有している者が優先される(一方でも受験はできる) ③国際交流事業推進として、教科に関わらず 英語・中国語・台湾語を得意とする者 は選考の際考慮する		
初任給	本校給与規程による ※年齢給+職能給	契約給 230,600円	新卒 時間給 2,300円 経験者 時間給 2,500円~3,000円 (中高の教員に限る)
各種手当	固定手当：扶養手当・住居手当・担任手当・副担任手当 通勤(基準内全額)手当 勤怠手当：各種講座手当、部活動指導手当等		固定手当：通勤手当 調整手当：出勤日により、3段階 10,000円、15,000円、 20,000円 勤怠手当：各種講座手当
昇給	年1回 ※人事考課制度により、2年目以降 毎年7月を昇給時期とする	勤務実績により契約更新	講師給与規程による
賞与	年2回 教職員評価制度による		講師給与規程による
福利厚生	私学振興・事業団共済加入(年金・健康保険)、雇用保険加入、退職金制度有(専任と常勤講師では異なる)		2年目以降時間数により、私学振興・事業団共済加入できる
勤務時間	平日/午前8時30分~午後5時00分 ※変形労働時間制 土曜日/午前8時30分~午後12時45分		個人契約による授業時間
休日	日曜日、祝日、土曜日(原則第2・第4土曜日)、開校記念日、埼玉県民の日、年末年始休暇、夏期休暇、(年間で数日の休日出勤有)		左に準ずる、土曜日は全休 定期テスト、成績処理日出勤有
特記事項	①学園の所有する浦和学院西浦和寮完備(但し、専門学校生優先) 空室があれば入居できる ②提携している管理会社があり、学校から30分~45分の完全個室、食事つきの施設を紹介できる。		①原則、週5日(月~金)、20時間 相当の授業を担当できること ②週3日以内を希望する場合、履歴書にその理由と希望曜日を明記すること。(12時間原則)

8. 第Ⅱ期採用試験日程に関すること

- ①過去の本校採用試験で不合格者は、再受験できない。
- ②埼玉会場・東北会場のいずれか1ヶ所での受験となる。複数受験はできない。
- ③本校で計6回行われる「高校受験生のための学校説明会」に参加することは、可とする。

選考段階	試験期日・内容等	
第1次 選考 (外部受験者)	提出書類締切日	2018年11月15日(木)17時00分までに郵便にて必着のこと ※提出された「官製はがき」にて受験番号を返送する ※特別推薦選考、大学学部長推薦を希望する者は、11月30日まで猶予する。
	選考内容 選考発表	提出書類の審査 2018年11月17日(土)12時00分目安 本校ホームページにて合格者の受験番号を発表する
第2次 選考	埼玉会場 〔浦和学院高等学校〕	東北会場

	<p>〔試験日〕</p> <p>2018年11月22日(木) 15時30分集合 2018年11月25日(日) 15時30分集合</p> <p>〔発表日〕</p> <p>2018年11月27日(火) 12時00分目安</p> <p>試験日は出願時に選択すること</p>	<p>〔試験日〕</p> <p>2018年11月23日(金) 13時00分集合</p> <p>〔発表日〕</p> <p>2018年11月27日(火) 12時00分目安</p>
	<p>試験日程</p> <p>諸注意(15分) 専門教科試験(60分) 休憩 作文(45分)</p> <p>試験問題</p> <p>※但し、受験者数によっては、専門教科試験と作文が変更になる場合もあり。 ①専任教員・常勤講師・非常勤講師ともに同じ内容とする。教科により満点は異なる ②理科は、物理・化学・生物の基本的・基礎的な内容と専門分野より出題、配点される 但し、専門分野を考慮して選考する。 ③地歴公民は「地歴」・「公民」を選択受験できる。</p> <p>携行品</p> <p>受験票・筆記用具(鉛筆・シャープペン・消しゴム)</p> <p>選考発表</p> <p>本校ホームページにて合格者の受験番号を発表、同時に合格者のみに郵送にて通知する</p> <p>注意事項</p> <p>集合時間に遅れた場合には、入室できない。</p>	
	<p>埼玉会場 〔浦和学院高等学校〕</p>	
第3次 選考	<p>〔試験日〕</p> <p>2018年12月4日(火)から 2018年12月6日(木) 教科によって期日・時間を指定</p> <p>〔発表日〕</p> <p>試験終了後、合否通知書を配布する。 合格であれば、1時間後を目安に4次選考を行う。</p>	
	<p>所要時間</p> <p>面接時間は一人30分程度(指定時刻の30分前には待機すること)</p> <p>選考内容</p> <p>管理職面接、教科によっては簡単な模擬授業を求める場合もある</p>	
第4次 選考	<p>〔試験日〕</p> <p>3次選考に引き続き行う 2018年12月4日(火)から 2018年12月6日(木) 教科によって期日・時間を指定</p> <p>所要時間</p> <p>待ち時間を含めて90分程度</p> <p>選考会場</p> <p>浦和学院高等学校</p> <p>選考内容</p> <p>校長面接</p> <p>※3次・4次の東北会場試験はありません。交通費は当方で負担致しますので、埼玉会場で受験していただきます。 面接時間については、配慮致します。 宿泊を伴う場合には宿泊費は当方で負担致しますのでお申し出下さい。</p>	
最終 選考 結果	<p>選考発表</p> <p>試験日翌日午前中までに各人宛Eメールにて通知する 2018年12月10日(月)「選考結果通知」を送付する</p>	

合否の区分	①専任教員として合格 ②常勤講師として合格 ③非常勤講師として合格、常勤講師として採用登録 ④非常勤講師として合格 ⑤非常勤講師として採用登録(試験は合格、採用待機) ⑥不合格
-------	---

9. 第Ⅲ期採用試験日程に関すること

2019年1月10日、本校ホームページにて日程を告示する。
 試験は、2月5日～2月20日前後を設定する予定。
 希望者は、「6」に定める事前エントリー、出願を行うこと。

10. 第Ⅳ期採用試験日程に関すること

2019年2月20日、本校ホームページにて日程を告示する。
 試験は、3月15日～3月20日前後を設定する予定。
 希望者は、「6」に定める事前エントリー、出願を行うこと。

11. 現在、本校に勤務している内部からの任用替え受験者

詳細は、校内に別途公示する。

職 種	専任教員 (Ⅱ期試験のみ)	常勤講師 (Ⅱ期・Ⅲ期試験)
	原則 30歳未満	原則 30歳未満
内部者 受験資格	本校内部からの任用替え受験希望者は、以下に示す受験資格を満たしていること [専任教諭] ア. 契約常勤講師 [常勤講師] ア. 常勤講師として次年度以降継続を希望する者 イ. 非常勤講師として勤務実績がある者	
内部受験 該当者 書類提出	提出書類締切日 別途、告示する 提出先 エントリーシートを期日までに事務部 田辺まで直接持参する 選考内容 エントリーシートの内容・勤務実績の評価	

12. お問い合わせ

メールアドレス [saiyou\(a\)uragaku.ac.jp](mailto:saiyou(a)uragaku.ac.jp) (a)は@に変換して下さい。

※電話での問い合わせはご遠慮下さい。

13. 各試験会場への交通案内

埼玉会場	【浦和学院高等学校】 アクセスはホームページにて要確認。採用試験のためのスクールバスは運行されません。 東川口駅北口発 「さいたま東営業所」行乗車「浦和学院高校入口」下車 東浦和駅発 「さいたま東営業所」行乗車「浦和学院高校入口」下車 大宮駅発 「浦和美園駅」行乗車「浦和学院高校入口」下車 または「浦和学院高校」行乗車「終点」下車
東北会場	受験者の地域・人数等に合わせて、利便性を最優先し会場を決定します。 ※仙台市または盛岡市等、複数会場で実施する場合も有り。 試験の詳細については、会場が決定次第、受験者の方々と相談させていただきます。

※東北会場の緊急連絡先(当日用携帯電話)については、受験票にて周知する。

教員を目指すあなたへ（2019版）

浦和学院高校では2020年高大接続改革への流れと、これからの時代を生きる生徒たちが養うべき学力、及びスキルを踏まえ、学校として提供していくべきより良い教育のあり方を教員間で模索し、それを具体化するプログラムやシステムの構築を検討し、推進しています。

今年度より3カ年計画・年次進行にて各教室にWi-fi完備、プロジェクター、スクリーン、タブレットPCを常設しICT活用型授業をさらに活性化し、また各教科・科目の先生方によるアクティブ・ラーニング型公開授業やビデオ編集による研究授業発表等による校内教員研修、さらには、文科省や予備校、私立中高連合会など外部主催の教員研修への積極的参加（費用は学校負担あるいは補助）を促しています。

本校はこのように、教科指導はもちろん、学級経営、部活動などの課外活動、大規模校のスケールメリットである生徒の「多様性」が、若い先生方の教育への情熱を存分に活かしていただける学校だと思っています。

以下は、本校に就職した若い先生達のコメントです。教員を目指すあなたの参考になれば幸いです。高等学校教育に情熱をお持ちの皆様のお待ちをお待ち致します。

… 執行部長（教育改革推進担当） 星野 光代

本校に勤務し、2年目になり多くの場面で教員の協力体制が強いことを感じている。生徒指導や学校行事などで教員が一丸となり生徒の為に尽くしていると思えた。

私が教員を目指すきっかけを下さった恩師の先生のように、ただ叱るだけや授業するだけの教員ではなく親身になり生徒のために行動できる、他愛のない相談事にも乗れる先生を目指したい。学校現場では、毎日様々なことが起こっているが私は生徒のことを考え行動し解決へと導きたい。そして、自分が将来就きたい職業などを見つけ希望の大学に進学できるような教育を実践し浦和学院にいつでも帰って来られる学校を目指して私自身も日々精進していきたいと考える。（理科、男性、2年目）

勤務を初めて半年も満たない現在、すでに本校では教員としてだけではなく社会人として、そして人間として非常に刺激のある生活を送っております。

実際に勤務をしていて何よりも感じることは、本校の第一の特徴とも言える多様なコース編成によるたくさんの生徒との関わり合いから受ける、高校生のパワーの大きさです。授業担当クラス・清掃担当クラス・担当部活、他どの私立高校でも味わえないほど本当にたくさんの生徒との出会いがあり、毎日の生活の中で生徒からパワーを貰っています。

生徒それぞれ一人一人と対等に接することは容易なことではありませんが、教員として生徒の成長の助けになれるよう日々努力して参りたいと感じております。（国語、女性、1年目）

浦和学院高校は最難関国立・私立大学を目指すコースや部活動に打ち込みながら進学を目指すコースなど様々なコースがあり、各コース、各生徒に合った授業を行うことで、他ではないたくさんの経験を得ることができます。

現在、私は難関大学を目指す特進クラスや、野球部やサッカー部で全国制覇を目指しながら大学進学を目指すクラスなどを担当させて頂き、各生徒の目標や理解度に合わせた授業を試行錯誤しながら刺激のある毎日を送っています。

また、浦和学院高校には数多くの先生がおり、先輩方から様々な視点の教育を学べることも非常に良い点です。こうしたスケールメリットを生かしながら、これからも多くのことを学び、伝えていきたいです。（英語、男性、1年目）